

英語科学習指導案

指導教諭： [REDACTED]

実習生： [REDACTED]

1. 日時：令和4年6月8日 第2時間目（9時40分～10時30分）
2. 学級：第2学年6組（男子17名、女子23名、合計40名）
3. 教科書・教材名：Lesson5 Part3 Designed to Change the World
桐原書店 PRO-VISION II

4. 単元の指導目標

(1)聞くこと

リスニングで文章の概要を把握し、簡易的な図や表にまとめることができる。

(2)読むこと

世界の貧困層の現状と彼らの生活を変えるための新しいものづくりの可能性について、単語を調べたり、複雑な文については説明をきいたりすれば、細かい内容を理解することができる。

(3)話すこと〈発表〉

世界の貧困層の現状や問題とそれに対する製品作りについて、関連する文章を読んだり調べ学習をしたりして、学んだ内容やそれに対する意見を論理的に伝えることができる。

(4)話すこと〈やりとり〉

世界の貧困層の現状について、身近な話題であれば、新出単語や基本的な語彙・文法をつかって自分の考えを伝え合うことができる。

(5)書くこと

世界の貧困層の現状や問題とそれに対する製品作りについて、関連する文章を読んだり調べ学習をしたりして、学んだ内容やそれに対する意見を論理的にエッセイに書いて伝えることができる。

5. 単元の評価基準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
【知識】 単元で学習する言語材料（新出単語や新出イディオムなど）を含む文について、形、意味、使い方を理解している。	(1)聞くこと 文章の音声を聞いて、段落ごとのまとまりを意識しながら本文の概要を捉えている。 (2)読むこと	(1)聞くこと 文章の音声を聞いて、段落ごとのまとまりを意識しながら本文の概要を捉えようとしている。 (2)読むこと

【技能】	複雑な文も文の構造やその場面での意味を考えながら、細かく理解している。	複雑な文も文の構造やその場面での意味を考えながら、細かく理解しようとしている。
単元で学習する言語材料（新出単語や新出イディオムなど）を含む文について、形、意味、使い方を理解しており、実際の場面で使う技能を身につけている。	(3)話すこと〈発表〉 自分の考えたことや、意見について、相手にわかりやすく伝える工夫をし、論理的に英語で適切に伝えている。	(3)話すこと〈発表〉 自分の考えたことや、意見について、相手にわかりやすく伝える工夫をし、論理的に英語で適切に伝えている。
	(4)話すこと〈やりとり〉 自分の考えたことや、意見について、相手にわかりやすく伝える工夫をし、英語で適切に伝えている。	(4)話すこと〈やりとり〉 自分の考えたことや、意見について、相手にわかりやすく伝える工夫をし、英語で適切に伝えようとしている。
	(5)書くこと 自分の考えたことや、意見について、相手にわかりやすく伝える工夫をし、論理的に英語で適切に伝えている。	(5)書くこと 自分の考えたことや、意見について、相手にわかりやすく伝える工夫をし、論理的に英語で適切に伝えようとしている。

6. 生徒観

2年6組の生徒たちは、落ち着いたクラスで、授業は静かな雰囲気の中で生徒からの自発的な発言は少ないが、ペアワークやグループワークは一生懸命に取り組む様子が見られる。音読活動等の声は小さめで、英語に苦手意識を持っている生徒が多い。得意な生徒と苦手な生徒の差が見受けられる。特に自然な日本語で和訳することや、itやthatなどの指示語が何を指すか等の理解は苦手な生徒が多い。

7. 指導観

ペアワークを積極的に取り入れながら、生徒それぞれのわかる、わからないを言語化させると同時に、理解できているところは褒めて学習意欲を高め、英語に対する苦手意識を軽減したい。

また、最初にリスニングをさせて文章全体の概要を把握させ、表にまとめたり内容に関

する発問に答えたりして、情報を整理させる力を付けさせたい。授業は予習を前提として進めることで、生徒の自発的な家庭学習を促したい。

8. 教材観

これまで、デザイナーたちは、先進工業国の豊かな顧客を念頭に置いてデザインしてきた。しかし、世界の多数を占める開発途上国の貧しい人びとは、先進工業国向けの製品を使うことはなく、衣食住に関わる必需品さえ満足に得られない人も多い。この状況を変えようと、一部のデザイナーが、貧困層の人びとが本当に必要とするものを作りはじめた。本課を通して、世界の貧困層の現状と彼らの生活を変えるための新しいものづくりの可能性について知るきっかけとなる。

9. 単元の指導計画

時	学習内容
第1時	Part1 導入、ワークシートのリスニング問題
第2時	Part1 本文理解、ワークシートの読解問題、音読 Part2 導入、ワークシートのリスニング問題
第3時	Part2 本文理解、ワークシートの読解問題、音読 Part3 導入、ワークシートのリスニング問題
第4時 (本時)	Part3 本文理解、ワークシートの読解問題、音読 Part4 導入、ワークシートのリスニング問題
第5時	Part4 本文理解、ワークシートの読解問題、音読
第6時	小テスト、サマリーライティング、リテリング

10. 本時の指導目標

キラソラ太陽光ランタンがどのようにして電気のない人びとの生活をよくしているのかを理解する。

11. 本時の展開

時間	生徒の学習活動	指導上の留意点	評価の観点
	○あいさつ	・チャイムと同時に号令し、すぐに授業を始める	
導入 8分	・前時の復習 ・めあての確認	教師が英語で話し、生徒にリスニングさせる 確認させる	思考判断表現 (1)、主体的(1)

	<ul style="list-style-type: none"> ・ warm-up 1 minute speech “Have you ever experienced night without lights because of a typhoon or a thunderstorm?” (Yes) What did you do? (No) What would you do if you didn't have any lights at night? ⇒2人ほど指名して発表させる ・リスニング答え合わせ 	<p>20秒ほどシンキングタイムを与えつつ、ペアを組ませ first speaker と second speaker を決めさせる</p> <p>全員が聞こえるように必要に応じてリテリングや、リキャストを行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアで答えを確認させた後、指名して答えさせる 	思考判断表現 (4)、主体的(4)
展開1 3分	・新出語句の確認	・音声を聞き、発音アクセントを確認しながら実際に発音する	知識 技能
展開2 20分	○本文解説	<ul style="list-style-type: none"> ・最初に音声を聞く ・必要に応じて新出単語の類義語を尋ねる ・指示語や代名詞が何を指しているか逐一確認する ・過去完了の箇所は時制を確認する ・translationの箇所はペアで和訳を確認させる ・自然な和訳になるように指導する 	知識 技能 思考判断表現 (1)、主体的(1) 思考判断表現 (2)、主体的(2)
展開3 3分	○Q and A ペアで答えを確認させる 1問ずつ指名	質問文に対応する形で答えさせるように指導する	

展開 4 5分	○音読活動 ・ phrase reading	発音をまねて大きさに読ませる	知識 技能 思考判断表現 (2)、主体的(2)
5分	・ close reading		
展開 5 5分	○part4 の導入 ・ 1 minute speech ・ リスニング		思考判断表現 (1)、主体的(1) 思考判断表現 (4)、主体的(4)